

第30回ゆめまちまつり (コミュニティ祭り)

2017年度も10月の第3土曜日の10月21日にゆめまちコミュニティ祭りを開催しました。城南公園のステージと広場、ゆめまち館内で行う予定でしたが、あいにくの雨天で急遽会場を全てゆめまちに移動して開催しました。雨天にもかかわらず、大勢の方にお越しいただき、晴天だった昨年度とほとんど変わらない盛況でした。

多目的室の舞台では16の団体が日頃の練習の成果をお披露目致しました。作品展示は展示を希望される団体が増え、今回から2階の会議室も展示会場に加え、合計16団体がテーブルやパネルに日頃の成果を発表致しました。2階への人の流れが出るか心配でしたが、全展示会場3か所を含むスタンブラーを行い、粗品を進呈しました。昼過ぎには用意した粗品がなくなるほど多くの方にすべての展示会場を回っていただきました。

お楽しみコーナーや販売コーナーは屋外の多目的広場で開催しました。盛況ではありながら、雨の影響を受けました。

舞台発表



太極拳



旭小学校



城南小学校



大久保市長挨拶



空手

作品展示



活動実演・体験教室



お楽しみ広場



スーパーボールすくい

あさひコミュニティ 推進協議会の 課題に向かって

【放置しておけない課題】

2013年に「小山城南市民交流センター」の指定管理業務を受託したと同時に、創立以来連綿と続いてきた「あさひコミュニティ推進協議会」の事業に、それ迄に無かった全く新しい事業が加わって、ある意味ではかなり難しい組織形態として再スタートしてから、今年で5年が経過しました。その間、関係する皆様の絶大なるご尽力を持って頑張ってきたいただいたお陰で、指定管理業務委託者である市からもそれなりの評価をもらえるようになってきております。

その上で振り返ってみますと、我々「あさひコミュニティ推進協議会」のような地域の複数自治会が集まった組織が、従来の地域中心の事業の上に、公共施設の指定管理業務という新事業をも担って、今後とも継続して発展して行くには、何とか解決しなければならぬ課題（無理）が目立つようになってきたと思っております。

●地域コミュニティ活動（自治会との関係）は今後どうあるべきなのか？

●ボランティア活動部門と有給部門が併存する組織をどうするか？

●自主事業と称する「ゆめまち」特有事業の更なる推進策は？

●スタッフ人材養成が急務であるが・・・？

【課題克服に向かって】

課題克服を期待して、昨年11月末に千葉県の「ちはら台コミュニティセンター」の見学を企画しました。HPで見た「ちはら台」はセンターの敷地内に地区自治連の会館があるので、我々と同じような組織団体か

と期待したのですが、実態は公共施設の指定管理業務を担う目的で立ち上げられた専任のNPO組織で、我々が抱えている現実の課題との共通点はあまりありませんでした。

自力で課題を整理して個々の解決策を考え、それを実現するのは容易ではありませんが、無理を放置して継続発展が妨げられることになりま

すので、時間を掛けてでも自分達で悩むしかありません。

幸いにして、「ちはら台」見学に同行していただいた宇都宮大学の石井先生によると『あさひコミュニティと似た組織の例も有る』ということなので、我々の現状と課題をシッカリと聞いてもらった上で、種々のアドバイスをいただきながら、小山市とも一緒になって課題克服に取り組んで行きたいと考えております。

【克服を目指す時期】

出来るだけ早く課題を克服してより強固な体制の基で、更なる発展を目指すようになれたらと思っております。是非ともご関係の皆様方のご理解ご協力をお願い致します。

文責 寺嶋 浩志



※コミュニティセンター連絡先
27-99935
(毎日9時～21時)



コミュニティは安全で安心な暮らしを目指す